

七大学若手会第 6 回講演会が東京で開催されました

2016 年 9 月 10 日(土)、七大学若手会（2014 年設立、会長 許志国（京都大学修士、以下 Jico 会長））第 6 回講演会（講師：藤田昌久経済産業研究所前所長）が、東急キャピトルタワーにて開催されました。本講演会は一般社団法人学士会との共催で、京都大学・大阪大学の後援、青島ビール社からの協賛を得ており、総勢 41 名（男性 26 名、女性 15 名）が参加しました。主担当役員は酒井裕人氏、同副担当は山川早霧氏でした。

学士会からは小堀事務局次長、村松課長にお越しいただきました。今回は新規入会者に対するキャッシュバックキャンペーン（2,000 円/人）によって、2 名の学士会入会者がいました。

「グローバル化と知の時代に活躍される若手の皆様へ ～土木工学から人工知能まで、日米欧中の学問遍歴から語る～」と題した講演では、藤田氏から以下のメッセージを頂きました。

- ・「創造力」を持たない人には、優れた人はいない。創造することは、本当に楽しい。
- ・勉強というのは、「なぜ？」と考えること。先生の言うこと、定説、既存の概念は、半分は疑おう。
- ・「ルールだから従う」は思考停止の状態。守る必要がないルールであれば、変更すればよい。
- ・「基礎」ほど長持ちする。「専門」+「基礎」+「一般」の三位一体に生涯を通じて学んでいこう。
- ・「感謝」、「恩返し」を続けよう。先人が道を切り拓いてくれたからこそ、今の私たちがいる。
- ・三人寄れば文殊の智慧、三年寄ればただの智慧。
- ・英語がわからなくても心配はない、万国共通の数学を代わりに使えばよい。
- ・信頼関係があったから海外の教授達と共同研究できた。まず相手と友達作り、信頼関係作りをしよう。

講演会に続くグループワークでは、各テーブルで講演に対する意見交換を熱心に行いました。その後の Q&A、懇親会に移っても藤田先生に熱心に質問する参加者の姿がありました。

懇親会の余興では、藤田先生ご専門の空間経済学にちなんで、グループに分かれて 5 枚の A4 用紙を使って高さ・ユニークさ・美しさを競うペーパークラフトゲームを行いました。限られた時間の中で作られた個性的な作品の数々に参加者は目を奪われ、相互投票による高さ・ユニークさ・美しさの各一等賞に加えて、総合的に優れたチームに藤田先生より藤田賞が贈られました。若手会で初めて講師の名で授与した賞でもあります。オリンピック年によせて、受賞者には表彰状以外にも Jico 会長から金メダルが合わせて授与されました。

懇親会の最後に、毎月恒例の七大学若手昼食会および 12 月 17 日(土)のクリスマスパーティーの案内があり、近所の中華料理店での二次会に移行しました。二次会には飛び込み参加者が複数おり、その後有志での三次会へと流れていきました。

七大学若手会ホームページ：<http://wakatekai.jp/>

七大学若手会経営陣一覧：<http://wakatekai.jp/7UYMS.pdf>

七大学若手会設立趣旨：<http://wakatekai.jp/7Uusyushi.pdf>



ご講演中の藤田先生



学会) 小堀事務局次長



藤田先生と Jico 会長



会場の様子



主担当役員酒井裕人氏



副担当役員山川早霧氏



グループ討論の様子



藤田賞受賞者 (全員金メダル)



第 4 号賛助会員田中正人様



京大若手会賛助会員桑原利行様



幹事団の自己紹介



和気藹々の円卓 2 次会

